

せとうち DMO NEWS

地域や事業者の皆さまにせとうちDMOについて理解を深めていただけるよう活動状況や観光関連情報を毎月お届けしていきます。

Japan's Inland Sea,
SETOUCHI

Vol.
96

“Japan's Inland Sea, SETOUCHI”
世界に評された瀬戸内



ABOUT US

「多島美」と呼ばれるキラキラと輝く海と大小700以上の島々、そしてそこに暮らす人々とともに息づき豊かな恵みをもたらす里山が織りなす景色、せとうち。わたしたちせとうちDMOはその恵まれた資源を「せとうちブランド」として確立し、地域経済活性化や豊かな地域社会の実現を目指し活動しています。その実現のため、せとうちエリアの自治体・観光関連事業者をはじめとする地域の皆さまと共に連携し、地域一丸となってせとうち広域での観光振興に取り組んでまいります。

せとうちDMO

発行日：2024年6月28日
発行：せとうちDMO
発行人：小原・渡辺・京極
住所：広島市中区基町10番3号

せとうちDMO

<https://setouchitourism.or.jp/ja/>

SETOUCHI REFLECTION TRIP

<https://www.setouchi.travel/en/>

瀬戸内Finder

<https://www.setouchi.travel/jp/>

tonaruSETOへのイベント参加しました！

徳島新聞社が運営するtonaruSETOとエアトラベル徳島が運営するtonaruSHIMADAの2つの施設からなる観光施設が6月1日からオープンするのに先駆け関係者へのお披露目があり、機構職員が参加しました。本施設は旧瀬戸小学校を、SHIMADAは旧島田小学校をリニューアルしており、両学校ともに故 増田友也氏の設計した建物で、採光を積極的に取り入れたデザインに特徴です。

(鳴門市には、他にも故 増田友也氏の設計した建築物が鳴門市役所、鳴門市文化会館などが数多く残っています。)

なお、本施設では阿波踊り体験やイカダ釣り体験キャンプなどが楽しめるそうで、鳴門の新たな観光拠点になりそうです。

<https://tonaru.jp/>



▲tonaru 入口



▲SHIMADA内部

イベントの様子をお伝えします！

【当日の公演内容】

徳島県阿波踊り協会18連合同による演舞

- ・女踊り→女法被→男踊り
- ・鳴り物紹介 (パートごと)
- ・踊り方レクチャー
- ・観覧者を入れた輪踊り
- ・特徴的な踊りをした人を選抜 鳴門わかめのプレゼント
- ・演舞



▲主催者挨拶



▲演舞の様子

理事会および定時社員総会を開催しました。

せとうち観光推進機構は6月24日(月)、エディオンピースウィング広島(広島県広島市)にて、理事会および定時社員総会を開催しました。

当日は県および社員企業の皆さまに出席・オンライン参加頂きました。

理事会・総会では、2023年度事業報告・決算等について付議し、可決・承認を頂きました。



理事会



【総会付議案件】

- ・ 第1号議案
2023年度事業報告及び収支決算

【理事会付議案件】

- ・ 第2号議案
2024年度事業計画及び収支予算の変更
- ・ 第3号議案
常務理事の選定

定時社員総会



【決議事項】

- ・ 第1号議案
2023年度事業報告及び収支決算

【報告事項】

- ・ 2024年度事業計画及び収支予算の変更
- ・ 「せとうちエリア」における高付加価値なインバウンド観光地づくり進捗報告
- ・ 瀬戸内ブランドコーポレーションの活動状況
- ・ 株式会社せとうちDMOメンバーズ業績報告

瀬戸内ブランドコーポレーション 第8期定時株主総会のご報告

株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションは、本日2024年6月28日（金）、第8期定時株主総会を広島市中区の会場にて開催しました。

会場には、委任状でのご出席を含め、42名の株主様にご出席いただきました。

当社代表取締役社長の田部井智行が議長を務め、報告事項や決議事項の説明後、質疑応答、議案の決議を行い、すべて承認可決されました。



会場では、はじめに議長の田部井によるあいさつの後、当社の事業概要や業績について説明が行われ、今年度策定した中期経営計画に関してその概要の説明を行いました。

中期経営計画では、当社のミッションである「せとうちを世界一のサステナブルな観光産業の集積地にす」の下、自主事業・ファンド受託事業・コンサルティング事業の各事業領域での取組みと、当社が観光産業のインフラを整備・提供・支援することで、せとうちの各エリアに必要な事業を集積させるビジョンについて説明しました。

また、本総会終結の時をもって任期満了となる役員の変更が行われ、以下のとおりの経営体制となりました。

【瀬戸内ブランドコーポレーション 第9期 役員体制】

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ・代表取締役社長 田部井智行(重任) | ・社外取締役 片山哲也(重任) |
| ・取締役 井坂晋(重任) | ・社外取締役 宮地良彰(新任) |
| ・社外取締役 坂元浩(重任) | ・監査役 奥兆生(重任) |

宮地取締役より

1991年の入行以降、支店での業務が中心でしたが、今年4月から地域活性化に取り組む地域戦略部に異動となりました。この度、地域戦略のミッションである観光推進に深く携わる機会をいただける事を大変ありがたく思っております。微力ではありますが取締役の責を果たせるよう頑張っております。

エリアプロデュース事業部の視察研修を行いました！

株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションのエリアプロデュース事業部はせとうち7県の各県に担当者（各地方銀行出向者）とせとうち7県全体を担当とするプロパー社員2名の9人体制で地域に密着し活動をしています。

本事業部が2024年度の取り組みとして掲げている「地域の観光事情をもっと知ること、観光客視点で課題の発見をすること」を目的とし、子会社や投資先、各エリアの主なコンテンツを研修先とし、地域の伝統文化や街と人の雰囲気を感じ取るための視察研修を2日間に渡って行いました。

【主な視察研修先】

①広島県尾道市：サイクルシップ・ラズリ／旧・千光寺山荘

尾道エリアでは、「サイクルシップ・ラズリ」と「旧・千光寺山荘」を訪れました。

「サイクルシップ・ラズリ」は弊社が運用する「せとうち観光活性化ファンド」の活用により、船舶保有会社「株式会社瀬戸内チャーター」を設立し、自転車をそのまま持ち込める旅客船「サイクルシップ」として建造され、尾道と瀬戸田を繋いでいます。また、2023年4月にリブランドオープンさせた最高級旅館「Ryokan尾道西山」の次なる展開である新たな宿泊施設として再生するため現在改修を行っているのが「旧・千光寺山荘」です。今回の視察で改修前の「旧・千光寺山荘」を訪れ、約1年後、この場所が尾道を、せとうちを代表するランドマークとなる期待感を募らせました。



▲ サイクルシップ・ラズリ



▲ 旧・千光寺山荘の屋上から眺める尾道水道

②広島県尾道市生口島・瀬戸田エリア

瀬戸田エリアは、地域に不足しているプロダクト開発やランドマークづくりを行うプロダクト化、地域一体となった面的な事業の計画・運営・管理を行うエリア化、そしてエリア化した地域を一次・二次交通でつなぎ誘客を促進するルート化という弊社のエリアディベロップメントの取り組みを実際に落とし込んだ場所です。尾道市より、2019年からの3ヶ年計画で、商店街を中心とした瀬戸田地域の活性化事業を受託し、ワークショップ開催による地域の機運醸成・地域外事業者の活動誘致・地域内外の連携促進を実現しました。その瀬戸田町・生口島で訪れた「ボナプール楽生苑」は誰もが気軽に立ち寄れる地域に開かれた福祉をコンセプトに、障がい者の就労活動そのものが、福祉支援に留まることなく、地域の課題解決に繋がっていくことを目指した施設です。弊社として、“観光”が社会福祉や地域交流に貢献していく「新たな観光産業の形」を実現すべく、本施設の事業構想、商品開発、運営計画や開業準備まで一気通貫したサポートを行いました。



▲ 瀬戸田のメインストリート“しおまち商店街”とサイクリングの様子



▲ ボナプール楽生苑の搾汁加工所で提供されている「瀬戸田カンキツスムージー」

②徳島県美馬市脇町

・瀬戸内ブランドコーポレーションが今年子会社化した株式会社MIMAチャレンジが徳島県美馬市の「うだつの町並み」において運営している古民家ホテル「Paysage MORIGUCHI」とイタリアンレストラン「Punta」。

イタリアンレストラン「Punta」でお食事をいただき、その向かいにある、100年以上の歴史を持つ古民家をかつての趣を残してホテルに改装した「Paysage MORIGUCHI」に宿泊しました。



▲徳島県美馬市脇町の「うだつの町並み」



▲宿泊先の「Paysage MORIGUCHI」と



イタリアンレストラン「Punta」での食事(写真はコースの1部)

徳島県は藍染めの元となる藍染料「菜(すくも)」づくりの本場として、江戸時代より藍の集散地として栄え、現在もその伝統が引き継がれています。徳島で作られた菜は「阿波藍」と呼ばれ、日本遺産にも登録された伝統文化です。ハンカチ、巾着、手ぬぐい、ストールなどから自分が染めたいものを選び、工房の方に藍染め文化の歴史や毎日状態のことなる藍の管理の難しさなどご説明いただきながら、思い思いの柄に藍染めしていきました。



▲阿波天然藍染やまうちうだつ工房にて藍染め体験を行っている様子

【今回の視察研修の行程】1泊2日でドライブしながら楽しめるコースです!ぜひ皆さんもお試ください🚗

※青:SBC宿泊事業、緑:投資先、オレンジ:コンサル等連携

■1日目:5月16日(木)

尾道集合:〈視察先〉旧・千光寺山荘/U2/サイクルシップ・ラズリ

→瀬戸田へ移動:〈視察先〉シトラスパーク/しおまち商店街/ボナプール楽生苑/しまなみドルチェ/
サイクリング(しまなみロマンにて自転車レンタル) ※瀬戸田港~瀬戸田サンセットビーチ

→大三島へ移動:〈視察先〉大山祇神社→来島海峡SA

→脇町へ移動:〈視察先〉うだつの町並み/Puntaで食事/ Paysage MORIGUCHIにて宿泊

■2日目:5月17日(金)

〈視察先〉阿波天然藍染やまうちうだつ工房にて藍染め体験

→香川へ移動:〈視察先〉四国水族館

せとうちアカデミー報告

第105回：伝統と文化を世界に伝えるブランドデザイン

～広島発祥のけん玉から世界へ発展したものづくりと戦略～

皆さまはけん玉にどんなイメージをお持ちでしょうか。ほとんどの皆さまが、けん玉は日本の子供遊びや昔遊びなどの「古い」・「玩具」というイメージを持たれているかと思います。

イワタ木工様は、従来のけん玉では想像出来ない「ものづくり」と「発信」の仕方によってけん玉のイメージを少しずつ変えようとして取り組まれております。

今回のせとうちアカデミーでは、「けん玉」から発展したものづくりを世界へ発信されているイワタ木工様の取り組みの中でも、地域の伝統工芸や文化を世界へ発信することについて、実践されている取組みやパリの見本市の事例等を交えお話いただきました。



◆講師：株式会社イワタ木工 代表取締役 岩田知真氏

<https://iwata.fun/>

◆日時：2024年5月30日(木) 14:00～15:00

第106回せとうちアカデミー：訪日ラボのデータからわかるインバウンド市場の最新動向及びGoogleMAPから見る外国人の口コミ獲得の重要性について

アフターコロナ、円安とインバウンド向け観光業に追い風となっている昨今、改めてインバウンドの最新情報が知りたい方も多いと思います。

今回のアカデミーでは、インバウンド担当者向けに訪日外国人に関するニュースやデータを毎日配信するインバウンドビジネスの総合メディア「訪日ラボ」運営の(株)mov様にご登壇いただき、最新のインバウンド市場における動向やトレンドなどのご説明をいただきました。

また、昨今プロモーションや受入環境整備の両軸で重要な指標となっているGoogleMAP (Googleビジネスプロフィール) の整備及び情報発信、外国人の口コミ獲得の重要性についても合わせてお話いただき、インバウンド市場の動向を押さえ、狙うべきターゲットへ情報発信の準備について学ぶ機会をいただきました。

◆講師：株式会社mov インバウンド事業部
コンサルティング部 部長 川西 哲平氏

◆日時：2024年6月13日(木) 14:00～15:00

